

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	キッズゆめみらい		
○保護者評価実施期間	令和8年 1月 26日		～ 令和8年 2月 7日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20	(回答者数) 15
○従業者評価実施期間	令和8年 1月 26日		～ 令和8年 2月 7日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 2月 20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	支援員一人一人が密に対応することができる。	色々な視点から児童の状態把握に努めている。問題が見つかった場合には職員同士で共有・対処法検討し、最善の対処が出来るよう配慮している。	学校や、相談事業所との連携を深めて、保護者と児童の両方に対して支援していけるよう諸機関や情報を持ち寄り取組に反映させたい。
2	他者との関わりを十分に深めることができる。	様々なゲーム等を通してソーシャルスキルのトレーニング要素が出来るよう配慮している。	限られたスペースの屋内では、各々の取組に加え集団活動を行っているが、効果的な誘導方法や指導法を模索していく。
3	屋外活動を多く取り入れており様々なシーンにおいて活動する機会が得られる。	目的を持った活動内容や、活動によって得られた一人一人の情報の共有等意識的に行っている。	屋内の活動スペースの整理整頓に努めこと。施設設備の点検・補修を行い安全かつ気持ちの良いサービス提供に努める。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員配置基準は満たしているが、もう少し職員が必要だと思われる。	児童一人一人に細やかな支援を提供するとなるとそれに要す時間がおのずと増える。また、様々な職員が対応することで新しい視点を取入れた支援を	常に新しい求人情報を心掛ける。縁故採用についても十分に検討していく。
2	通所人数次第ではあるが、活動スペースが手狭に感じられることがある。	常に新しい活動を模索し、狭さのカバーや活動内容そのものの固定を考慮する必要がある。	活動内容について様々なY情報収集を行うことで、活動内容の固定化を防ぎ屋内・屋外その場所によって児童の訓練、敷いたは職員の資質向上にもつながると考える。
3	事業所内研修や訓練をもっと行う必要がある。	送迎の手配や活動準備・計画に時間を割いている為別途多くの時間を確保することに苦慮する。	毎月行う職員会議において、毎回1つは研修につながる議題を設ける。